



別海町立中春別中学校



学校だより

令和3年2月26日 発行 校長 岩崎 撰也

## 『スポーツが与えてくれるもの』

校長 岩崎 撰也

個人的なことで恐縮ですが、私が生まれたのは1964年、前回の東京オリンピックが開催された年です。生まれた年ですから記憶はもちろんありませんが、当時の貧しかった日本がこの東京オリンピックを境に国際的に発展していったということは聞いたことがあり、それだけオリンピックは国にとっても大きな意義のある国際的なイベントなのだと思います。それから57年の時を経て、今年東京オリンピックが開催されようとしています。組織委員会の会長が森元首相から橋本聖子さんに代わり、大変な決断を迫られる立場になったと思いますが、「安全」、「人命を最優先」ということを第一に考え、開催するかしないかを含めて、深慮を持って舵を取ってほしいと思います。

ところで「オリンピックは参加することに意義がある」という言葉がありますが、近代オリンピックが始まった当初、メダルの数をめぐり、国と国の争いとなり険悪なムードになっていたときに、創始者であるクーベルタン伯爵が訴えた言葉です。勝利する、優勝することだけが大切なのではなく、オリンピックに参加する道のりの中でスポーツを通じて努力することの大切さを学ぶこと、フェアプレーの精神をお互いに尊重することで言葉は通じなくても国境や文化を越えた「思いやり」のバトンを渡すこと、そして日々努力を重ね、鍛え上げられた選手たちの技や演技の一つ一つが見る者に感動や勇気を与えるというスポーツの持つ本来の素晴らしさを忘れてはいけないということを表しています。

今年度はコロナ禍により、中体連を始め様々な大会を開催することができませんでしたが、生徒たちが部活動で一生懸命に練習に打ち込む姿、体育祭でチームが一つになって頑張る姿など、本当に輝いている姿を見ることができました。努力することの尊さや仲間を思いやることの大切さ、感謝の心などスポーツに本気で打ち込む中で知らず知らずに身につけ、成長させてくれることは、まさにスポーツの持つ力であり、生徒たちにはこれからもスポーツを通じて大きく成長してほしいと思います。

おわりに、3年生は公立高校の入試を3月3日（学力検査）、4日（面接）に控え、最後のスパートで学習に取り組んでいます。また卒業までの登校日もあと9日を残すのみとなり、残された中学校生活の時間を心に刻みつけるように大切に過ごしています。なお、3月11日に行う卒業式では昨年に引き続きまして、来賓の皆様のご出席をお控えいただき、各家庭1名の保護者と在校生が出席する中で開催いたします。時下の状況から、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

